

一 帝國主義戰爭總討反對

一 國貨改良の努力を必要と欲し買取の大量保蔵利を之作す

一 資本主義的の産業合理化絶対反対

一 代議員 三〇七名

一 傍聴者 約五百名

一 主たる傍聴者

松岡駒吉

野田律太

赤松常子

有森健一

原虎一

大會順序

第百 十月 日

午前十時 菊川忠雄 登壇 大會上へ来るべきを宣し

同盟歌合唱

(新作 別紙参照)

一 南會の辞

山内鉄吉

(要旨) 昭和五年十月五日我々は大陸中島一山を臺大とし

に於て、合同大会を議案し、以来、一年有余を経過し、茲に

才二回大会を準備し得る事は、全代議員諸君と共に此か

とすゝる処である。と同時に、東西の戰術的而團體の合同結

案こそは、在傍例階級の利害を双肩に擔つて、善狂暴化

する資本の攻勢の前に、強力なる南會を準備し、四

方互對の健全戰線を築くべき重大なる任務を有する團體